



市川中HP

大きな達成感

▼9月16日～18日の2泊3日で、広島・京都・奈良への修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルスにより4月の実施予定を延期し、陵風祭が終わって間もないのですが、元気に楽しく行ってくることができました。▼16日(金)は、市川中から出発式を行った後、バスで静岡駅に向かいました。静岡駅からは、新幹線に乗り広島には正午前に着きました。原爆ドームの前で、ガイドさんと合流し、グループごとに平和公園内の原爆史跡を見学しました。



▼原爆の子の像前で、持参した千羽鶴を収めるための「献鶴式」を行い、実行委員長の石原濤未さんが「私たちは、平和について考え、理解し、思いを受け継いで明るい未来が続くよう行動



していきます」と力強く平和の誓いを読み上げました。▼平和祈念資料館では、被爆体験講話を聞き原爆遺品を見学しました。今回講師を務めてくださった中西さんは、爆心地から5km離れた実家で被爆したそうです。その中西さんは「平和ほど尊いものはない。平和の原点は人間と心と心の触れ合いであり、いついつまでも努力し続けることが何より大切です。」と講話をまとめてくれました。▼広島での見学を終え、再び京都に戻り、宿泊地である「リーガグラン京都」に到着したのは20時でした。その後、夕食、入浴等を済ませ、22時30分には消灯しました。▼2日目は5時40分起床、時間通りに集まり、しっかりと朝食を食べた後に、タクシーによる京都自主見学に出かけました。グループは3～4人の13班編成で、事前に計画した見学地を訪れました。伏見稲荷神社、十三間堂、清水寺、二条城、金閣寺、北野天満宮などの人



気スポットを見学した後、16時30分に妙心寺に到着し、全員で「座禅体験」を行いました。

▼3日目は、5時45分起床、6時30分に朝食、宿泊地である「アークホテル京都」を7時25分に出発し、バスで奈良県に向かいました。▼この日は、クラスごとに東大寺と興福寺、法隆寺の3か所を見学し、大仏、阿修羅像、釈迦三尊像などの日本を代表する有名な仏像を直接、見学することができました。また、いずれの見学地でも、ガイドさんの説明を、メモをとりながら真剣に聞く姿が見られました。奈良公園では、鹿との触れ合いタイムをとりましたが、鹿の勢いに圧倒され、逃げ出す生徒も多数でるなど、楽しいひと時を過ごしました。▼その後、奈良を13時過ぎに出発し、約6時間かけて、19時に碑林公園駐車場に着きました。



当初は台風14号の影響を受け、大雨を想定していましたが、3日間を通し、全く雨は降らず、体調を崩す生徒もなく、無事に行ってくることができました。▼修学旅行に先立ち、2年生は9月15日～16日の1泊2日で、宿泊学習に行ってきました。甲州市でのウォークラリーや愛宕山少年自然でのナイトハイク、フレンドパークむかわでの野外炊飯等の盛りだくさんの活動を通して、集団としての力を育むことができました。▼今回、2年生も3年生も、学校を離れて、仲間とともに過ごし、協力することで、大きな達成感を得たことと思います。この貴重な学びを今後の生活に生かし、個人としても集団としても、さらなる高みを目指し全力で頑張りたいと思います。

